

松下幸之助経営塾

【第十七期】 2018年9月開講 特別講師



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) ぴあ株式会社 社外取締役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、ぴあ株式会社社外取締役(現任)。



渡邊 幸義 (わたなべ・ゆきよし) アイエスエフネットグループ 代表

1963年、静岡県生まれ。86年、武蔵工業大学(現・東京都立大学)機械工学科を卒業。同年、日本デジタルイクイップメント株式会社(現・日本ヒューレット・パッカード)入社。株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ代表取締役副社長を経て、2000年、株式会社アイエスエフネットを設立し、代表取締役に就任。「雇用の創造」をグループの大義に標榜し、履歴書の過去にこだわらず意欲を基準に社員を採用することを実践。就労困難者への雇用にも積極的に取り組みながら利益を出し続けている。著書に、『未来ノート』で道は開ける!』(2008年・マガジンハウス)、『社員みんながやさしくなった〜障がい者が入社してくれて変わったこと』(2010年・かんき出版)、『社長のメモ』(2011年・かんき出版)、『会社は家族、社長は親』(坂本光司氏との共著、2011年・PHP研究所)、『雇用創造革命〜ひきこもりも知的障がいも戦力にする執念の経営』(2012年・ダイヤモンド社)、『美点凝視の経営』(2012年・致知出版社)、『お母さん、障がいの子どもを応援しますよ。』(2013年・学研パブリッシング)、『つながる雇用を実現します! ~誰もが輝ける会社に——アイエスエフネットの限りない挑戦~』(2015年・日本評論社)などがある。



戸田 一雄 (とだ・かずお) アスクル株式会社 取締役

1941年、大阪府生まれ。64年、滋賀大学・経済学部卒業、同年松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。営業第一線を経験の後、70年から設立の高級音響商品「Technics」の商品企画を以降16年間担当。本社スタッフ経験の後、88年、電化調理事業部長就任を皮切りに、白物家電、住宅設備機器、音響・映像・情報(AVC)機器 各事業の経営を担当。2003年、代表取締役副社長に就任。国内営業統括、デザイン、ブランド、宣伝、物流を担当する傍ら、中村社長と共に所謂「中村改革」を推進。全社重点商品開発、松下電工と松下電器の合併、国内営業流通改革、石油温風器事故対策 等、多くの改革を推進した。「全ての改革の原点は、『松下幸之助経営哲学の現場実践にあり』の実証者を自認する。06年、松下電器・副社長退任。その後ネット通販大手のアスクル株式会社・取締役に就任し現在に至っている。その他外部活動としてユニバーサルデザイン協議会・議長、日本・ベトナム ビジネスサポートセンター会長、滋賀大学特任教授、学校法人「文化学院」理事長、等を歴任。パナソニック(株)終身客員。



加藤照和 (かとう・てるかず) 株式会社ツムラ 代表取締役社長

1963年、愛知県生まれ。86年、中央大学商学部を卒業後、株式会社津村順天堂(現・株式会社ツムラ)入社。経理部、社長室、経営企画室などを経て、1999年より米国駐在。2001年には米国子会社 TSUMURA USA, INC. の取締役社長に就任。また同年、複数の日本企業が出資する合弁会社 Pacific Marketing Alliance, Inc. の取締役社長にも就任。北米地域における日本のトイレタリー用品、一般用医薬品等の輸入販売を行なうなかで、様々な国の出身者からなる組織がひとつの目標に向かう「理念経営」を実践し、人の成長とともにシェアゼロから4年間で6割のシェアを達成する。6年半の米国勤務を経て2006年に広報部長として帰国後は、漢方の啓発活動や企業ブランドの向上に注力。2011年の取締役執行役員就任を経て、2012年代表取締役社長に就任。

漢方製剤のリーディングカンパニーとして、「自然と健康を科学する」という経営理念のもと、患者様に、より安全・有効に服用いただける「良薬」を追求し、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」という企業使命を果たすべく、理念にもとづく経営を実践する。



谷井 昭雄 (たにい・あきお) パナソニック株式会社 客員、元社長

1928年、大阪生まれ。48年、神戸工業専門学校(現・神戸大学工学部)精密機械科を卒業。敷島紡績(現・シキボウ)、東洋金網(現・トーアミ)を経て、56年、松下電器産業(現・パナソニック)に入社。70年、録音機事業部長代理(のち、事業部長)、72年、ビデオ事業部長を経て、79年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、86年、山下俊彦社長に代わり第4代社長に就任。93年に相談役、2003年に特別顧問に就任し、2018年退任。また、公益財団法人霊山顕彰会特別顧問、一般社団法人日中経済貿易センター特別顧問、公益社団法人ボーイスカウト日本連盟特別顧問などを務める。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

※肩書きは、2018年8月時点のものです

松下幸之助経営塾

[第十七期] 2018年9月開講 特別講師